

平成 27 年度 第 3 回 静岡県作業療法士会 理事会議事録詳細版 (平成 27 年 8 月 1 日)

出席者：秋山、三井、梶原、稲葉、岩井、大石、大庭、岡庭、勝又、小林、林、村岡(理事:12名)
小笠原、谷川 (監事 2 名)、[高岡、小坂、武内 (書記)]

場 所：静岡県作業療法士会事務局 (静岡) 13:00~17:45

※【平成 27 年度 第 3 回理事会資料】<別紙資料>に順じて進行

【報告・審議事項】

1. 県士会役員の部局配置 (担当) について (岩井事務局長)

公益法人化に向けた組織変更 (事務局資料 1 頁: 現状、2 頁: 公益法人向け)

○全体

- ・局の配置については、会員が増え、会の活動も大きくなるためより階層的な運営が必要 (岡庭)
- ・局の役割 (目的) を明確にすること (秋山)
- ・財務部を事務局に一本化してはどうか (岩井)

○学会

- ・学会は学術部の中の扱いで良いのか。学会との関わりがイメージしにくい。(三井)
- ・公益事業としては分けても分けなくてもどちらでも良い (勝又)
- ・学会運営が若年化しており判断に苦慮することも多いため監督役が必要 (岡庭)
- ・学術的側面と運営 (事務) 的側面があるため学会運営部等の部局も必要か
⇒ 修正後再度提案 (継続審議) (岩井事務局長)

2. 第 28 回静岡県 OT 学会 運営最終報告 (大石学会長)

1) 報告事項

- ①前倒しで作業を進めたが遅れてしまう → 準備マニュアル作成 (学会毎蓄積) ⇒ 承認
- ②会場確保が難しい → 会場の特徴を記したマニュアル作成と 5 役決定前に仮押さえ ⇒ 承認
- ③準備金の不足 → 120~140 万の準備金の用意
 - ・基金のようなものは良いか → 会計上お金を外に出すのは良くない (小田巻氏へ確認中)
- ④リカバリーのような一般の方が発表する場合、一般聴講者の特別参加費を設けてはどうか
- ⑤今後の予定

第 29 回学会へ申し送り (三井副会長出席し流れを確認)、決算・決算報告、資金移動

2) 検討事項

- ①実行委員の参加費について割り引いてはどうか
 - ・どこまでの委員を対象とするか
 - ・日当となると課税がかかる
 - ・講演や発表が聴講できないという意見であれば、撮影し期間を決めて閲覧できるよう整備
 - ・現行収入で学会運営が賄えており、日当や割引があれば会費等で調整が必要になる
 - ・学会だけでなく各部の活動の中で運営に対する意識付けを行う必要がある
⇒ 会計部会を通して検討

3. 第 29 回静岡県 OT 学会 進捗 (稲葉理事)

1) 依頼事項 : 広報部へ依頼: 県士会 HP トップページにバナーを作成依頼

2) 検討事項

- ①公開講座の定義の確認 → 土曜日の池川氏の講演を公開講座として良いか ⇒ 承認
- ②総会時間の確認 → 総会時間は良い。総会前の準備時間が短い。 ⇒ 一部再検討
(公益法人取得後の定款変更もあり 2/3 の賛成が必要)
- ③学会参加費の事前コンビニ振込の実施について
県士会が使用している業者に依頼が可能(部々所追加で月 8,000 円+リスト化に 1 名 100 円必要)
協会費入金の有無との照合が県士会内で行う必要がある
 - ・コンビニ払いであれば、半券等で確認できるため、照合は必要ない
 - ・払込み用紙の印刷・発送作業を事務局で行うため煩雑
 - ・学会誌と同封となると印刷業者へラベルと払込み用紙の氏名を合わせる作業の依頼が必要
⇒ 継続審議

4. 第30回静岡県 OT 学会 進捗 (三井副会長)

1) 報告事項

- ・ 田尻学会長への依頼と会場説明を実施。
- ・ 8月上旬に組閣を決定。その後協力者を集めて始動
- ・ 30回学会で節目のため歴代の会長や学会長が集うような企画も検討したい

2) 依頼事項

- ・ 学会長への委嘱状の発送 (事務局)

5. 第3回47都道府県委員会報告 (秋山会長) (報告内容は資料参照)

年4回実施、次回は1月に開催

7月26日～27日、於：TKP 日本橋カンファレンスセンター

1) パイロット事業

①平成26年度パイロット事業報告

②平成28年度パイロット事業について

2) 特別支援教育関連

①士会の取り組み (石川県、山梨県、鳥取県、愛媛県)

②協会の取り組み (制度対策部小児領域)

- ・ 有休で行くことが多く報酬が個人 or 事業体どちらの収益か不明確
 - ・ 現在は事業体 (又は個人) との契約だが、今後は県士会で取りまとめ行政へ啓発できると良い
 - ・ 教育委員会が巡回指導等行うと個人で行くセラピストも必要なくなる
 - ・ 特別支援教育を受ける前の課題 (健診やどんな医療を受けるか等) も多く、関わっていない
 - ・ 整備されている地域 (浜松) もあり格差がある
- ⇒ アンケート等を通して分野だけの把握でなく実態を把握したい (今後提案事項として)

3) 協会からの報告事項

①地域連絡費・地域活動費について

②地域リハビリテーション活動支援事業に関わる事項について

地域ケア活動研修会：地域ケア会議に出席できる人材育成の研修→終了者が推進リーダーとなる
→県には3士会で代表者の選出を準備していることを報告しているが、現状は各市町の裁量となり直接事業所に依頼することが考えられる。

③組織率低下に対する取り組みについて

- ・ 70,000人の有資格者に対して48,000人の会員
- ・ 最近では毎年4,000人の合格者に対して入会は2,000人
- ・ 養成校だけでなく先輩・上司が非会員の職場もある

4) MTDLP プロジェクトチームからの報告

5) 地域包括ケアシステム構築に向けた工程表について

6) その他

①協会よりヒヤリング、アンケートを検討

②50周年記念行事：記念式典 (平成28年9月25日)、記念誌、記念行事 (1年間)

6. OT 協会代議員選挙管理委員 (秋山会長)：遠藤氏 (浜松大学) に確認し承認を得た。

7. 各種委員の推薦依頼の確認 (事務局)：特になし

8. その他

①3士会合同協議会 (秋山会長)

- ・ 来年度立ち上げ予定 (9月の会長会議にて検討)
- ・ 全国的にも3士会の協議会は立ち上げている
- ・ 名称の検討
- ・ 会員1人100円 (総会員約1,400名×100円=140,000円) 程度の予算を検討

②静岡県作業療法士連盟 (秋山会長)

- ・ 3士会合同協議会と並行し立ち上げ検討したい ⇒ 次回検討事項として挙げ意見集約する

③理事会資料の項目立てについて (岩井事務局長)

- i) 項目立て：検討事項、提案事項、報告事項、伝達事項、確認事項
- ii) 結論：承認、継続審議、現時点では却下

【各部報告】

1. 財務部（小林理事）

1) 提案事項

今年度は来年度予算を早い段階で立てたい。各部署日程もそれに合わせて調整して下さい。

- 【予定】10月理事会 来年度事業計画と予算案を提出
12月理事会 具体的に審議
2月理事会 ヒヤリング

2. 学術部（三井副会長）

1) 報告事項（内容は理事会資料参照）

- ①MTDLP 研修会
- ②県士会 SIG
- ③県士会 HP 内に【MTDLP 相談窓口】を開設：制度内容や会員個人の履修状況を把握
→ 清水部長が窓口となり、制度内容等は大川部長へ確認する流れ

2) 確認事項

- ①学術部研修会、MTDLP 研修会、県士会 SIG 勉強会の確認 ⇒ 承認
- ②MTDLP について：【MTDLP の重要なお知らせ】を作成（修了要件と研修会開催予定を案内）
・介護保険の生活行為リハ加算取得算定要件という側面 MTDLP の実績蓄積という側面がある。

3. 教育部（村岡理事）

1) 検討事項

現職者選択研修講師が認定 OT になることを受け、早めに研修計画を立て講師依頼する ⇒ 承認

2) 報告事項（内容は理事会資料参照）

- ①事業進行状況：計画通り進行中
- ②修正 → 東部地区「事例報告と事例研究」「事例検討」「事例報告」 10月18日
- ③9月の現職者研修にて OT 協会からアンケートの依頼あり（静岡県をモデルとして実施）
- ④担当理事の役割分担は随時行っている。

3) 確認事項

新人オリエンテーション受講者の会員番号について事務局からの報告待ち
⇒ まだ数名会員番号が届いていない

4) 提案事項

認定 OT 取得を推進：周知方法の検討、広報活動実施

- ・来年度は教育部員からも認定 OT を輩出する
- ・認定 OT 取得者は経験年数が多い会員がほとんどである。次世代が少ないのは何故か。
→ 研修会の定員が多く参加できないということも考えられる
2日間の研修という形態も参加が難しい

4. 広報部（大石理事）

1) 報告事項（内容は理事会資料参照）

- ①新組織体制
- ②今後の予定

2) 検討事項

HP 等での広報（研修会等）依頼が多くなっているが掲載の可否の判断をどうするか
⇒ 広報部と事務局の裁量で判断。必要あれば理事メーリングで検討

5. 渉外部（秋山会長）

1) 報告事項（内容は理事会資料参照）

- ①渉外関連の会議、式典の出席
- ②今後の予定

6. 福利部（代理：大庭理事）

1) 報告事項（内容は理事会資料参照）

- ①東海北陸リーダー養成研修会 in 静岡 第4回静岡 OT リーダー育成研修会について

2) 検討・提案事項

- ①東海北陸リーダー養成研修会における静岡県士会の代表者選出（今回も5名を選出予定）
理事会及び部長会より、以下の方々を提案
・伊海友雪氏（沼津リハビリテーション病院）、加納 彰氏（中伊豆リハビリテーションセンター）
辻 光子氏（遠州病院）、杉山康史氏（城西神経内科クリニック） ⇒ 以上4名承認

・他1名検討

7. 事業部（建木理事）：紙面報告

・チャレンジ事業：応募1件（フットサル）あり

8. 調査部（大庭理事）

1) 報告事項（内容は理事会資料参照）

- ①現況調査 → HPへの掲載依頼
- ②第28回学会アンケート
- ③今後の予定（各種調査）

2) 検討事項：①子育て世代OTに対するアンケートについて別紙たたき台を作成 ⇒ 再検討

9. 制度対策部（梶原副会長）

1) 報告事項：発信した情報と問い合わせの内容を今後理事会にて報告していく

10. 地域活動推進部（林理事）

1) 報告事項：部の担当理事・部長の名簿と市町代表者名簿を作成

2) 検討事項：①平成27年度静岡県作業療法士会 地域活動推進部研修会（案）

- ・開催日：平成27年12月13日（日）
- ・場所：静岡県男女共同参画センター あざれあ
- ・テーマ：作業療法士の地域活動への参画
- ・特別講演：中村春基氏（OT協会会長）

⇒ 訪問リハ実務者研修会と日にちが重なるため平成28年1月の開催で再調整
出席可能な理事は極力出席する

○東部（林理事、大庭理事）

1) 報告事項

- ①第1回東部地区作業療法士交流会を開催（各施設のOTの相互交流を深める目的）
今後も継続して開催していきたい
- ②伊豆・伊豆の国市グループという団体があり伊豆医療福祉センターを中心に障害児のクラフト等を行う。11月には段ボールで遊ぶ催し物がある。
- ③タウンミーティング：10月18日（日）
- ④地区メールの誤送（全員をToで送信）に対して苦情があった。

○中部（勝又理事）

1) 報告事項：①静岡市高齢者福祉課在宅医療出前講座アンケート結果報告（別紙）
②中部地区新人歓迎会を開催した[27名（内新人13名）参加]

○西部（稲葉理事）：特になし

11. 都道府県連絡協議会（岡庭理事）

1) 報告事項：今後も協議会からの依頼に対して理事メールで意見集約していく。

12. 災害対策委員会（村岡理事）

1) 報告事項（内容は理事会資料参照）

- ①第4回静岡災害リハビリテーション研修会の開催
- ②第2回静岡災害リハミーティングの開催
- ③緊急時連絡システムの構築
- ④防災訓練の実施
- ⑤災害担当者会議への参加

13. 法人化推進委員会（勝又理事）

1) 報告事項

- ・6/27 打ち合わせ（小田巻氏、岩井事務局長、小林財務部長）書類に不備があり調整中
- ・8月1日（土）17:00～ アークネットにてヒヤリング

2) 依頼事項

- ・理事名簿の作成にあたり、氏名・生年月日・住所・年齢の用紙を一人ずつ提出

14. 表彰委員会（小坂氏）：特になし

15. 訪問リハビリテーション連絡委員会（齊藤理事）：紙面報告

16. 事務局（岩井事務局長）

1) 検討事項

- ①理事会資料の項目立てと結論の統一化（前頁参照）
- ②事務員の派遣制限（受入期間 3 年）抵触日（9 月）以降、今年度はほぼ同条件での直接雇用へ変更し来年度から予算計上して週 5 日の直接雇用へ ⇒ 承認
- ③平成 28 年度～会費コンビニ払い期限の延長＋再請求書郵送減少
現在：コンビニ払いの支払期限 6 月 30 日＋再請求書郵送 3 回（7 月、12 月、3 月）
今後： " 6 月 30 日＋ " 2 回（6 月上旬、1 月）で承認
- ④理事会開催前に事務局会議と 3 役会議（仮称）の開催
開催案：毎回 10:00～事務局会議 11:00～3 役会議（理事自由参加） ⇒ 承認
- ⑤公益法人化に向けた組織変更（前頁参照）
- ⑥会計ソフト購入：公益法人用に必要（年間 10 万円程の経費） ⇒ 承認
- ⑦紙とデジタルでのデータのスマート管理
理事会資料や規約など、または各部が持っているデータを見やすい形で管理したい
HP との絡みもあり広報部と検討 ⇒ 継続審議
- ⑧OT 協会 HP リンクするに当たっての当県士会の英語表記
Shizuoka Association of Occupational Therapists (SAOT)
⇒Shizuoka Occupational Therapists Association (SOTA) へ変更

2) 提案事項

- ①来年度事業計画&予算案を次回 10 月の理事会に提出をお願いしたい（前頁参照）
- ②平成 28 年度名刺を広報物として広報部事業計画と予算でお願いしたい ⇒ 承認

3) 報告事項（内容は理事会資料参照）

- 4) 伝達事項 ： 公益認定基準 18 項目について伝達（有休財産額等）

17. その他

1) 検討事項

- ①退院後生活環境相談員研修会に関して（大庭理事）
 - ・ 県、政令市、職能団体の合同事業として昨年度から開催
 - ・ 今年度は平成 28 年 1 月 20 日（水）もくせい会館にて開催予定
 - ・ 県 PSW 協会澤野会長「日精看静岡支部、県 OT 士会と 3 団体の主催で開催したい」と提案⇒ 主催団体としての協力を承認
研修会参加の促しや普及啓発を制度対策部からも促進したい（梶原）

【次回】

第 4 回理事会日程：10 月 31 日